

PET検査予約窓口からのご案内

日立総合病院
地域医療連携室長 糸井由紀子



日頃、地域医療機関の先生方にはご支援ご配慮を賜り、心から感謝申し上げます。今回、PET検査の受付窓口である地域医療連携室よりPET検査の申し込みに関するご案内をさせていただきます。

PET検査は費用が高いというイメージがありますが保険適用疾患の場合、患者様の自己負担は1割負担の方で1万円以内、3割負担の方で3万円以内です。

悪性腫瘍の保険適用疾患は頭頸部がん・肺がん・乳がん・大腸がん・脳腫瘍・膵がん・悪性リンパ腫・転移性肝がん・悪性黒色腫・食道がん・子宮がん・卵巣がんです。何より体に負担が少ない検査だったと患者さまからよく聞かれる言葉です。今回は先生方にご紹介いただく際にご留意いただきたい点をお知らせいたします。

PET検査申し込みに関するご案内

・PET検査の申し込み方法のご案内

電話やFAXでの予約を受け付けております。 地域医療連携室（直通電話）0294-23-8343
（FAX）0294-23-8412
担当: 糸井, 目時, 須賀野, 高橋

ホームページにPETの概要を掲載しております。「予約申込書」をダウンロードいただき必要事項をご記入後FAXいただいても結構です。

URL: <http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachi/>

・PET検査の概要を患者さまにお伝え願います。

患者様の中には「なんの検査がよく解らないけど検査してくるように言われた」とお話しされる方がいます。(PET検査用のパンフレットを準備してありますので説明用にご利用ください。連絡いただければ早急に発送させていただきます)

・検査時間がなぜ長いのか心配される方がいます。

検査薬FDG注射後、1時間休憩し、体内に検査薬が十分に広がるのを待ちます。その後約30分かけて全身撮影をします。さらに休憩いただき、注射後2時間目に2回目の撮影を約30分かけて行なうため時間がかかります。休憩はリクライニングチェアでお休みいただきます。

・検査前の6時間は絶食・絶飲していただきます。

ただし水・緑茶・ウーロン茶のような糖分の入っていない水分は摂取可能です。患者様の中にはガム・あめ玉・コーヒー等を口にされ検査が延期になったケースもありますので補足説明をお願いいたします。

院内には検査終了後の患者さまやご家族が利用できるレストランやコンビニエンス・ストアがございます。

・PET検査の患者さま専用の駐車場を用意しております。

病院の正面玄関までお車を回していただき、駐車係または警備担当者に「PET検査で来院」の主旨をお伝えください。ご案内いたします。



PET検査症例

呼吸器症状で受診され、当初肺癌が疑われたが、 FDG-PETにて子宮癌からの肺転移が示唆された症例

72歳 女性

微熱と湿性咳嗽で近医受診。胸部XpとCTで右肺に空洞性病変が見つかり当院紹介される。肺化膿症または肺癌疑いにて精査。

WBC : 21200/ μ L, CRP:7.35mg/dL, CEA : 6.5ng/mL, CA125 : 85U/mL

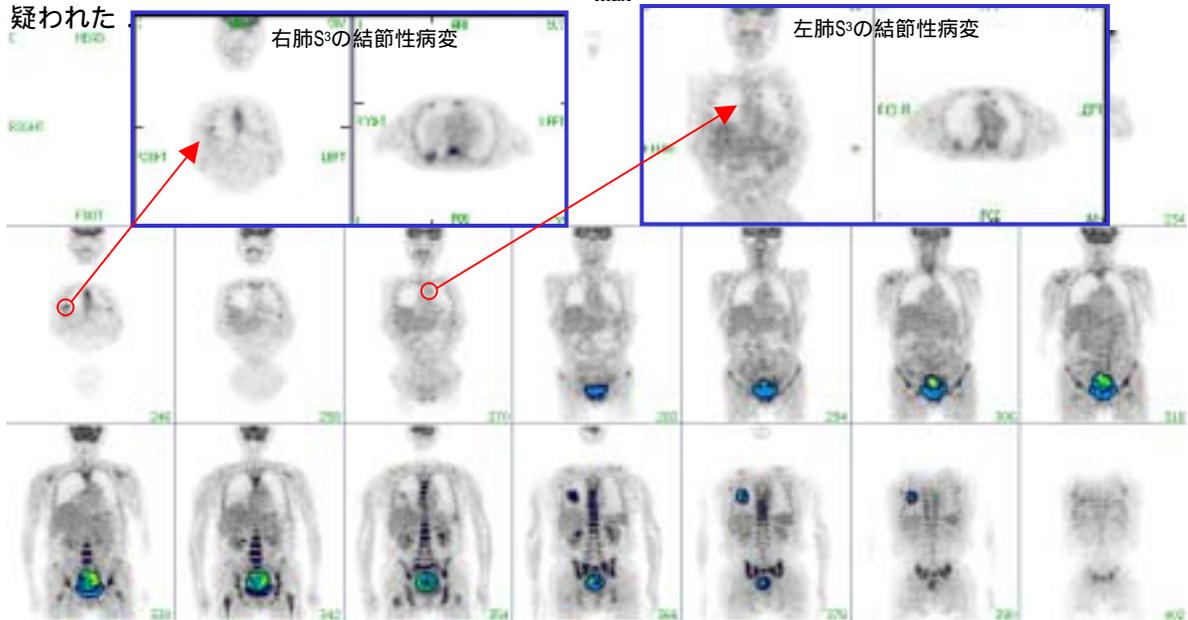
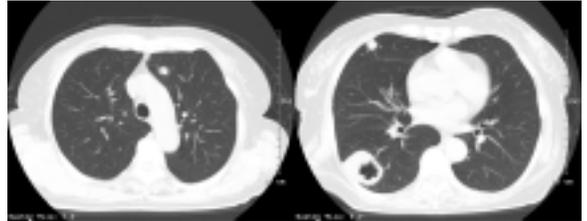
PRO-GRP : 20.2pg/mL, シフラ : 2.0ng/mL。

【胸部CT】右肺S6に43*38*45mmの、分葉形で壁が不整に厚い空洞性病変がある。

他にも右肺S3に10mm, 左肺S3に10mmの充実性結節性病変があり, 右肺S6原発肺癌で両肺に転移しているものと診断された。

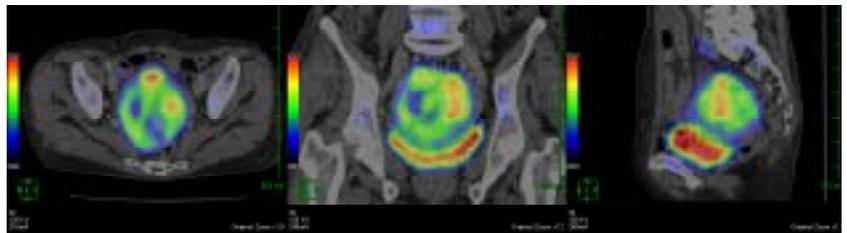
【気管支鏡】左B6より, ブラシ, 生検, 洗浄にて培養, 細胞診, 病理で有意な所見無し。

【FDG-PET】右肺S6 : $SUV_{max} \text{ 60分/120分} = 5.6/6.4$, 右肺S3 : $SUV_{max} \text{ 60分/120分} = 1.7/2.5$, 左肺S3 : $SUV_{max} \text{ 60分/120分} = 1.3/1.7$ と, 右肺S6原発肺癌で両肺に転移している可能性があると考えられた。しかし, 同時に, 子宮に強い集積($SUV_{max} \text{ 60分/120分} = 7.3/9.2$)があり, 子宮癌の可能性が疑われた。



【子宮内膜生検】 adenocarcinoma 。

【腹部CT】子宮に81*100*87.5mmの内部不均一な造影効果のある腫瘍が認められた。



以上の経過から気管支鏡が再検され、子宮内膜細胞診標本と比較検討した結果、肺癌原発を完全に否定できないが子宮癌からの肺転移が示唆された。

編集後記

PETレターの第3号をお届けいたします。今回は先生方からのご依頼を受け付けている窓口の地域医療連携室からのご案内です。地域医療連携は、まさに目に見える関係が重要だと考えております。今回のPETレターをきっかけに、当院のPET検査をご自身の施設のような感覚でお使いいただければ幸いです。予約日時のご希望や、検査の保険適用に関するご相談など、お気軽にご連絡ください。表面でご覧いただいた笑顔でお待ちしております。

蛇足ですが、表面の絵手紙は地域医療連携室長糸井の作品です。季節柄、少しの清涼感と、ひとときホッとする安堵感が皆様に届きますようお願いしております。

問合せ先: 日立総合病院PETセンタ 鈴木達也 0294-23-1111(代) E-mail: tatsuya.suzuki.gh@hitachi.com